

TOTO

壁掛自動洗面器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の給表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止	してはいけない「禁止」内容です。
分解禁止	分解しないでください。
湿気使用禁止	湿気の多い場所で使用しないでください。
必ず実行	必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

分解禁止	修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない 故障、感電の原因になります。
水場使用禁止	浴室内などの湿気の多い場所に設置しない 故障、感電の原因になります。
必ず実行	万一の際の危険防止のため、必ず過電流しゃ断器、漏電しゃ断器を設置する 火災、感電、漏電の原因になります。 電源には交流100Vを使用する 交流200Vや直流電源を使用しますと火災や故障の原因になります。 電源コードをコンセントに差し込むときは、根元まで十分に差し込んでから右回りに回して抜けないことを確認する 火災の原因になります。

注意

禁止	配水管内の水や、タンク内の水石けんが凍結するような場所へは設置しない 凍結した場合、破損し水漏れのおそれがあります。
必ず実行	施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する 家財を汚す原因になることがあります。 必ず2人以上で施工を行う 腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。

2 取り付け前に

1. 給水・給湯圧力の確認

- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給水・給湯圧力範囲は、0.05~0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには0.2MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 給湯温度の確認 (サーモスタット混合栓のみ)

- 誤動作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。ただし約50℃以上の湯は出ないようにしています。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 配管・配線について

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 電源はAC100V (50/60Hz)、最高消費電力は約8Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
- 給水管内のごみ、砂などは完全に洗い流してください。

4. その他

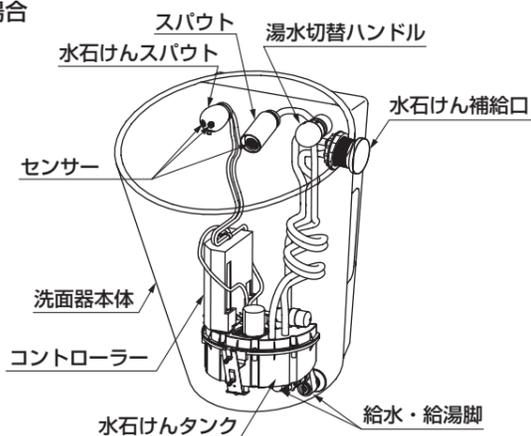
- 水道工事と電気工事は十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- コンセントは必ず防水コンセント (JIS防雨形、抜け止め機能付き) を使用してください。
- メンテナンスのために必ず洗面器のみでプレーカーを設置してください。
- アース接続は不要です。
- スパウトセンサー面を傷つけないように十分ご注意ください。
- インバータや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

3 仕様

品番	LS800DM	LS800CM	LS800C	LS800GM	LS800G
タイプ	サーモスタット混合栓 (湯水切替式) 水石けん付き (ムース状)	サーモスタット混合栓 水石けん付き (ムース状)	サーモスタット混合栓 水石けんなし	単水栓 水石けん付き (ムース状)	単水栓 水石けんなし
商品寸法 (設置状態)	幅 奥行 高さ 470 × 481 × 640 単位 [mm]				
商品質量	約 28.9 kg	約 28.2 kg	約 26.5 kg	約 28.2 kg	約 26.5 kg
電源	AC100V (50/60Hz)				
消費電力	待機時 1.6 W以下 最大8.0W (水石けん使用時)	待機時 0.4 W以下 使用時 0.6 W	待機時 1.6 W以下 最大8.0W (水石けん使用時)	待機時 0.4 W以下 使用時 0.6 W	待機時 0.4 W以下 使用時 0.6 W
使用環境温度	1~40℃ ※凍結が予想される地域では、ご使用できません。				
感知距離	自動設定 (学習機能内蔵)				
使用可能水質	水道水または飲用可能な井戸水				
給水圧力	最低必要水圧 (流動時) 0.05MPa 最高水圧 (静止時) 0.75MPa				
給湯温度	60~85℃				
給水 (給湯) 接続	15A (接続ねじPJ1/2)			15A (接続ねじR1/2)	
排水接続	VU40、VP40、40鉛管				
水石けんタンク実容量	約660 ml	-	-	約660 ml	-
温度調節	給水部の温度調節ハンドルで可能 (湯水切替式は、湯水切替ハンドルで切り替え可能)				

4 各部のなまえ

■LS800DMの場合



5 同梱部品の確認

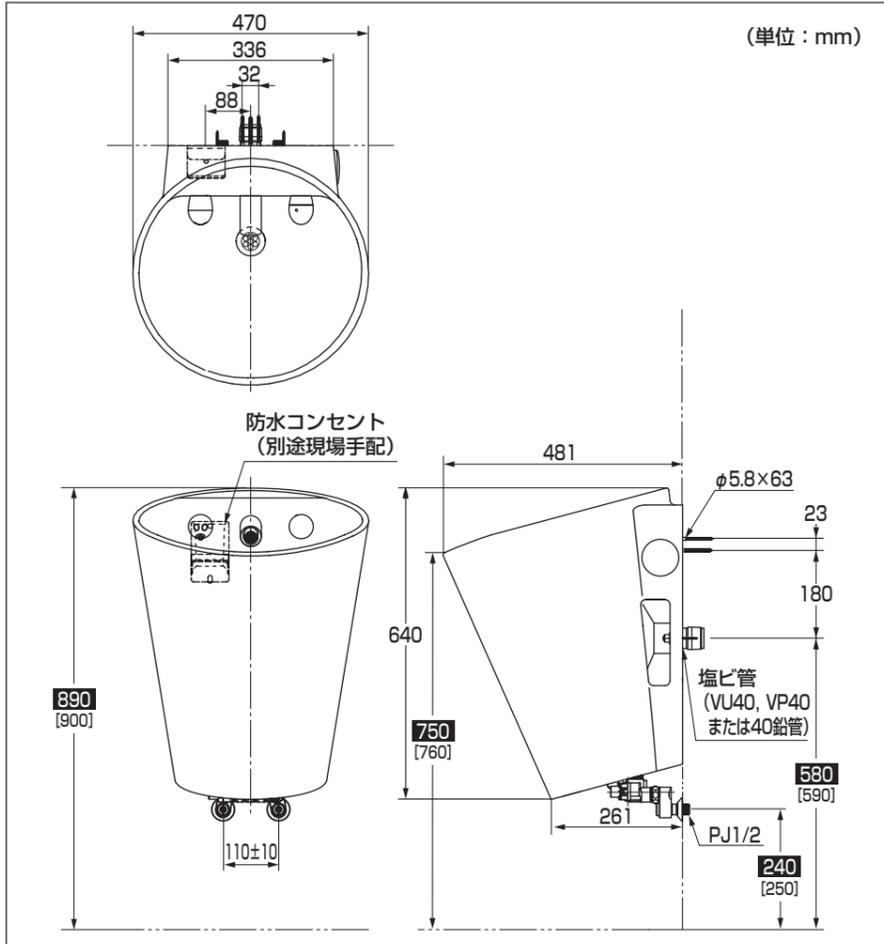
水石けん入れ 	給水部 図はLS800C/CM	施工説明書 	六角棒レンチ
バックハンガー 	取扱説明書 	開閉工具 	使用方法ラベル

6 完成図

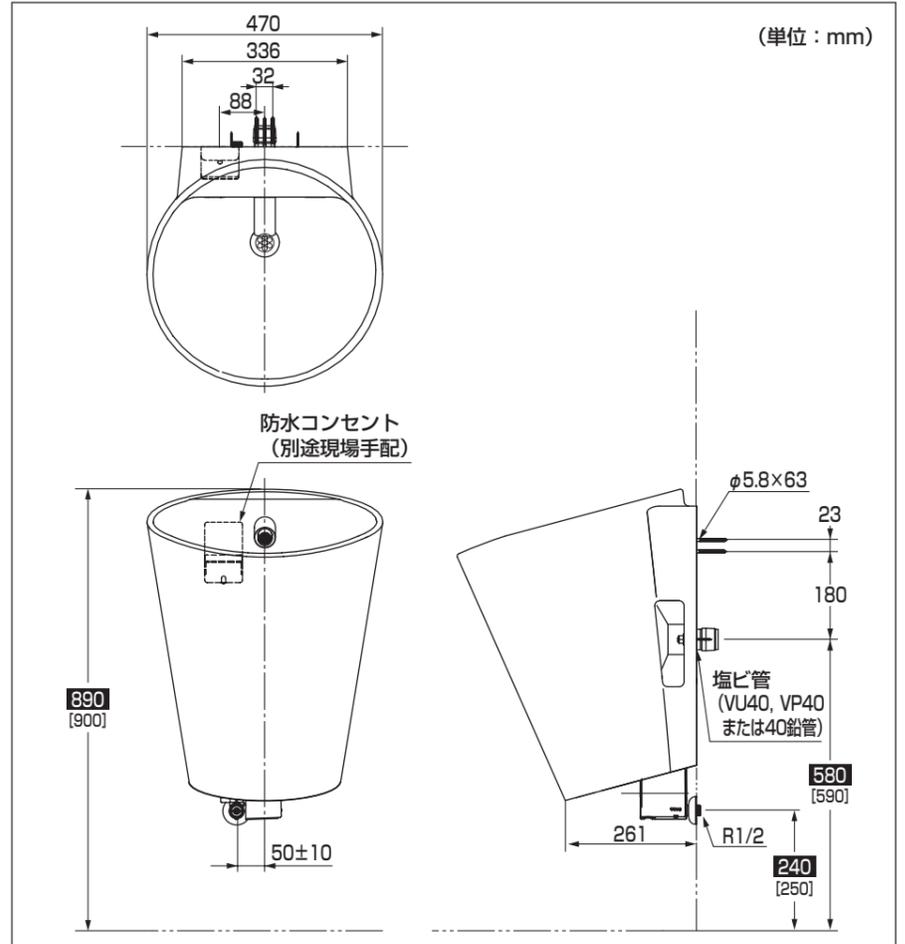
洗面器・手洗器のあふれ面・カウンター高さ基準を2008年2月より改定しております。洗面器・手洗器の取り付け位置および壁給排水の場合の立ち上げ位置が変更になっておりますのでご注意ください。※**白抜き**は変更後の基準、[]内は変更前の基準を示します。

- 注) ●防水コンセントは現場にて手配ください。
 ●プラグ形状はストレート型差し込みプラグで、一器具当たり差し込み口は一つとなります。
 ●壁強度が十分確保できないときは、バックハンガー取付部に縦方向の補強用の棧が必要です。詳細は「事前工事」を参照ください。

■LS800DMの場合



■LS800Gの場合

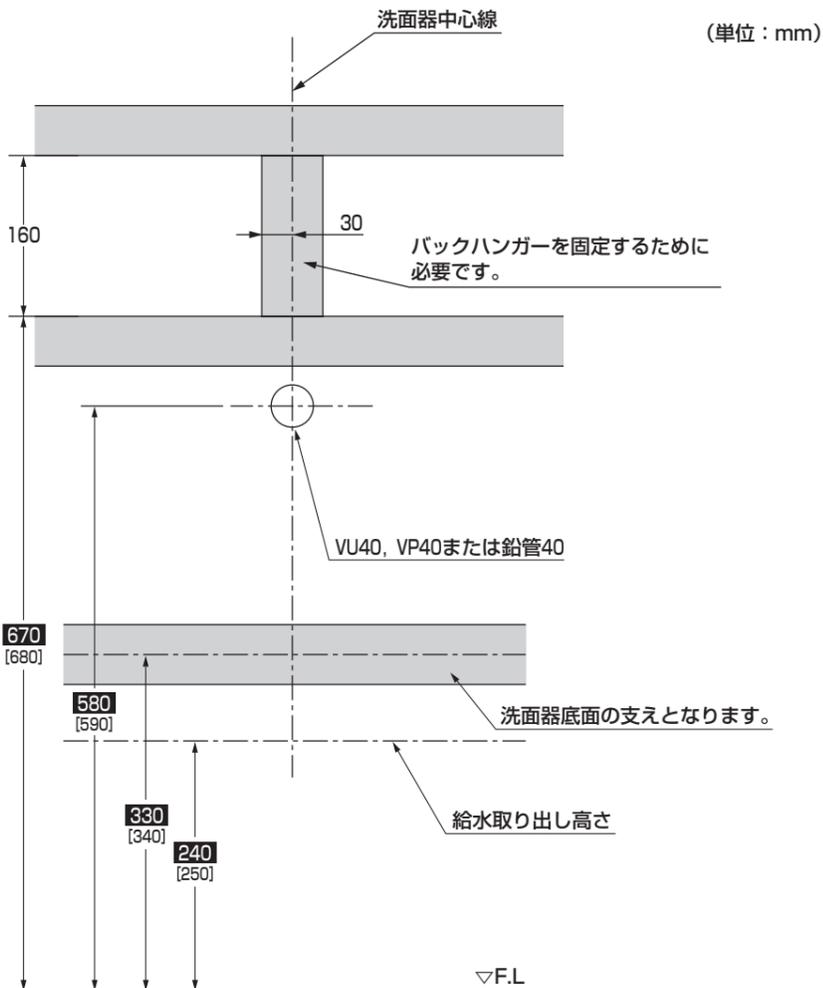


7 事前工事

洗面器・手洗器のあふれ面・カウンター高さ基準を2008年2月より改定しております。洗面器・手洗器の取り付け位置および壁給排水の場合の立ち上げ位置が変更になっておりますのでご注意ください。※**白抜き**は変更後の基準、[]内は変更前の基準を示します。

1. 補強用の棧の取り付け

壁強度が十分でない場合は、下図の [] の範囲を目安に補強用の棧を設けます。棧自体の縦寸法については、排水管に干渉しないように設定ください。



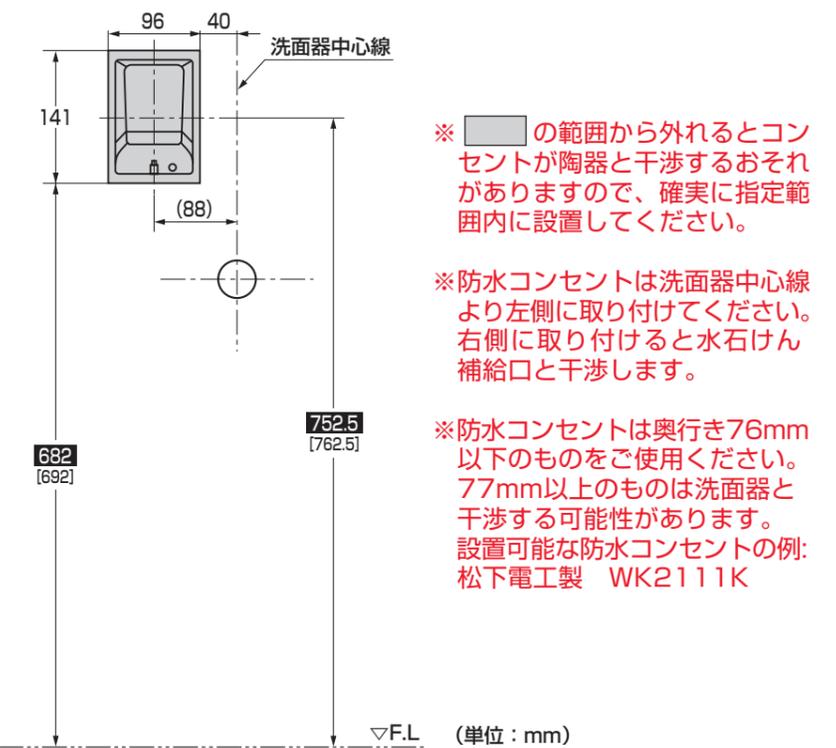
2. 防水コンセントの取り付け

下図の [] の範囲内に防水コンセントを取り付けます。

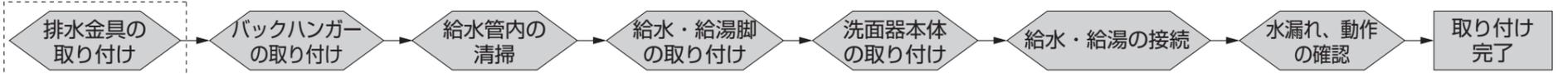
警告

コンセントは必ず2極防水コンセント（JIS防雨形適合品、1個用）を使用する
 火災や感電、故障(損傷)の原因になります。

必ず実行 防水コンセントの周囲は確実にシールされていることを確認する
 タイルなどに設置する場合は目地から浸水する可能性があるため、コーキングなどの処置を行う



8 施工手順



排水金具の取り付けは排水金具と同梱の施工説明書に従ってください。

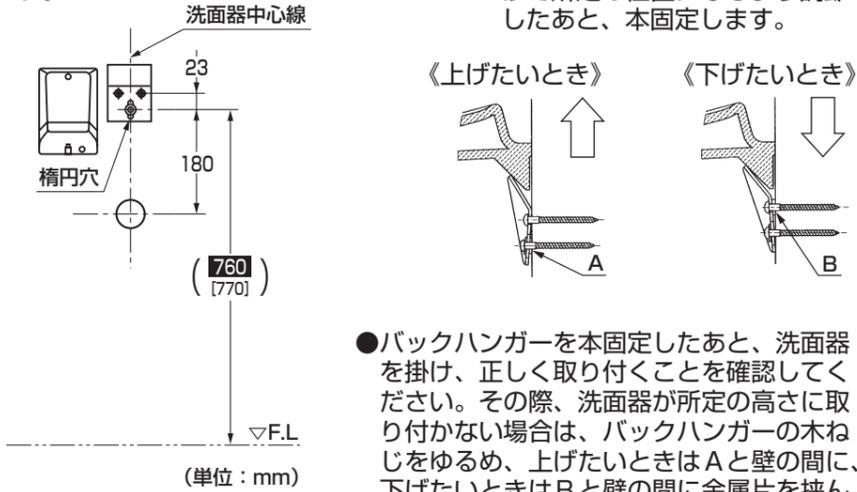
1. バックハンガーの取り付け

洗面器・手洗器のあふれ面・カウンター高さ基準を2008年2月より改定しております。洗面器・手洗器の取り付け位置および壁給排水の場合の立ち上げ位置が変更になっておりますのでご注意ください。

※**白抜き**は変更後の基準、**[]**内は変更前の基準を示します。

※バックハンガーを取り付ける前に必ず排水金具を取り付けてください。取り付けの際は排水金具と同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

- バックハンガーは最初から3本の木ねじで固定せず、**楕円穴のみで仮止め**します。
- Pシールをつけずに洗面器をかけて所定の位置になるよう調節したあと、本固定します。



- バックハンガーを本固定したあと、洗面器を掛け、正しく取り付くことを確認してください。その際、洗面器が所定の高さに取り付かない場合は、バックハンガーの木ねじをゆるめ、上げたいときはAと壁の間に、下げたいときはBと壁の間に金属片を挟んで調節してください。

2. 給水管内の清掃

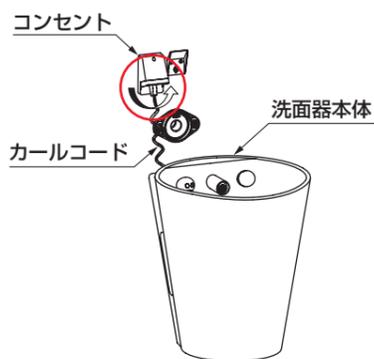
取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

重要

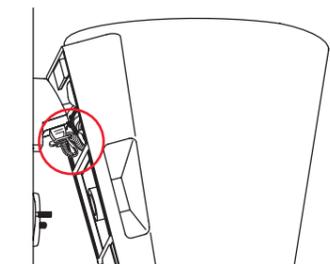
4. 洗面器本体の取り付け

※洗面器を取り付ける前に**ブレーカーがOFF**になっていることを確認してください。

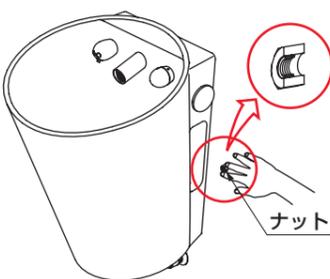
- 塩ビ管用の場合は必ず**フランジにPシール**をつけてから陶器を取り付けてください。
- 鉛管用の場合は必ず**陶器面にPシール**をつけてから陶器を取り付けてください。
- 陶器排水口周辺のごみ、および水滴などはよくふき取って作業してください。
- Pシールが硬くなることがありますので、トーチなどで柔らかくしてからご使用ください。



- コンセントにプラグを差し込みます。このとき、カールコードが無理なく届く位置まで**洗面器本体をできるだけ壁側によせて差し込んで**ください。
- コンセントに差し込んだあとは、**プラグを時計回りに回転**させ、抜けないことを確認してください。



- 洗面器本体をバックハンガーに掛けます。このとき、カールコードが**陶器と壁の間に挟み込まれないよう**、十分に注意してください。



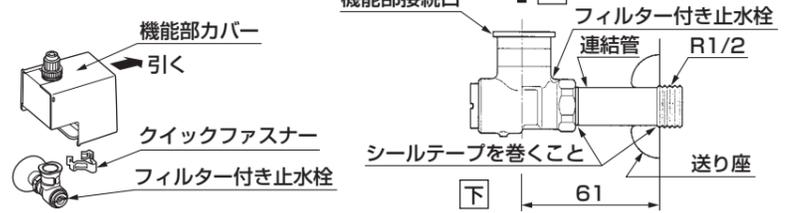
- 排水金具と同梱されているナットで洗面器を固定します。このとき、ナットはねじ山のない方から**ボルトに差し込んで**、引っ掛けた状態で回すと、比較的容易に固定することができます。

※ナットを強く締め込みすぎて洗面器本体を割らないようご注意ください。

3. 給水・給湯脚の取り付け

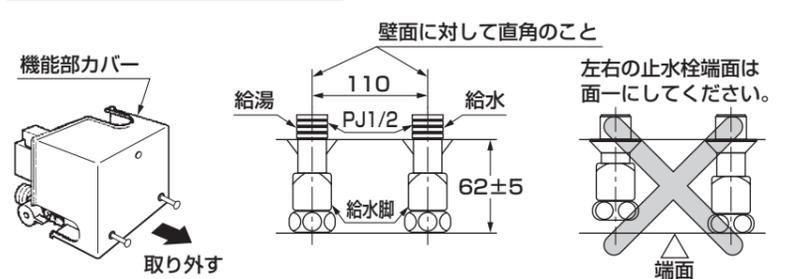
(単位: mm)

単水栓の場合



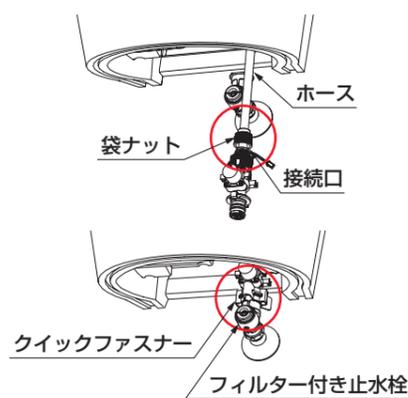
- 機能部カバーを矢印方向に引きます。(水石けんなしの場合のみ)
 - クイックファスナーを外し、フィルター付き止水栓を取り外します。
 - 送り座、給水脚を所定の位置に取り付けます。
- ※必ず機能部接続口が上になるように固定してください。水が浸入し、不具合の原因になります。

サーモスタット混合栓の場合



- 機能部カバーを取り外します。(水石けんなしの場合のみ)
- 送り座、給水・給湯脚を所定の位置に取り付けます。このとき**左右の止水栓端面は面一**にしてください。

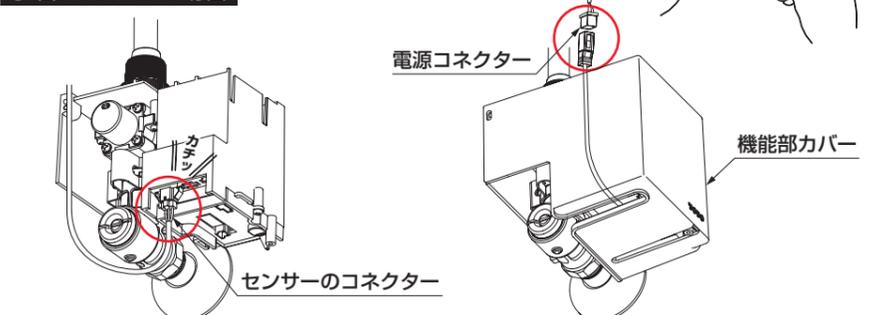
5-A. 給水・給湯の接続 (単水栓の場合)



- ①機能部から袋ナットを外してホースに袋ナットを通し、ホースを接続口に差し込み、袋ナットを手で締め付けます。※ホースが確実に差し込まれていることを確認してください。

- ②機能部をフィルター付き止水栓に取り付け、クイックファスナーで固定します。※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。

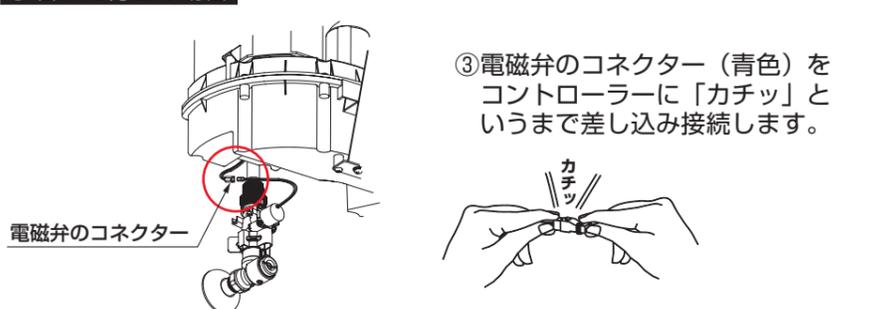
水石けんなしの場合



- ③センサーのコネクター(緑色)をコントローラーに「カチッ」というまで差し込み接続します。

- ④機能部カバーを取り付け、電源コネクター(グレー)を「カチッ」というまで差し込み接続します。

水石けん付きの場合

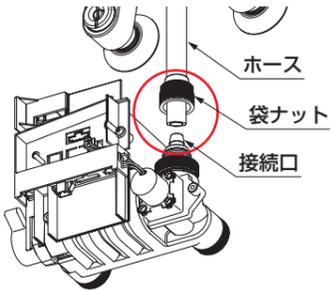


- ③電磁弁のコネクター(青色)をコントローラーに「カチッ」というまで差し込み接続します。

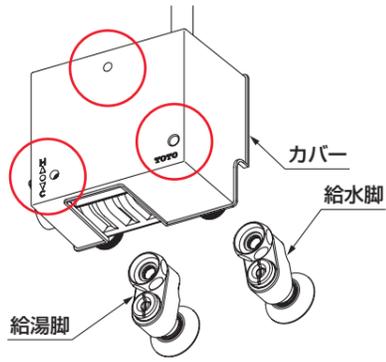
5-B-1. 給水・給湯の接続 (サーモスタット混合栓の場合)

水石けんなしの場合

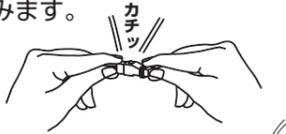
- 機能部から袋ナットを外し、ホースに袋ナットを通します。
- ホースを接続口に差し込み、袋ナットを手で締め付けます。
※ホースが確実に差し込まれていることを確認してください。



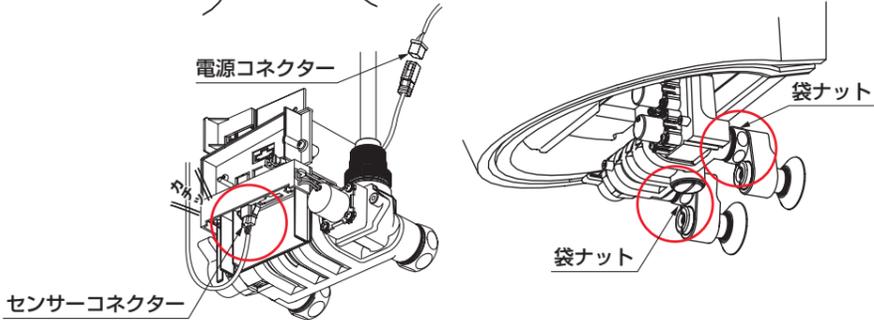
- カバーをねじで固定します。



- センサーコネクター (緑色) と電源コネクター (灰色) を「カチッ」というまで差し込みます。



- 給水・給湯脚の袋ナットにパッキンを取り付け、機能部をスパナなどでしっかり固定します。
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。



⚠ 注意



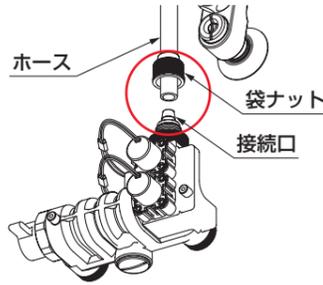
必ず実行

給水・給湯脚取り付けの際は、パッキンを必ず取り付ける水漏れして、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
給水・給湯脚は機能部の接続部が上になるように取り付ける下になるとフィルターの掃除および止水栓の調節ができません。

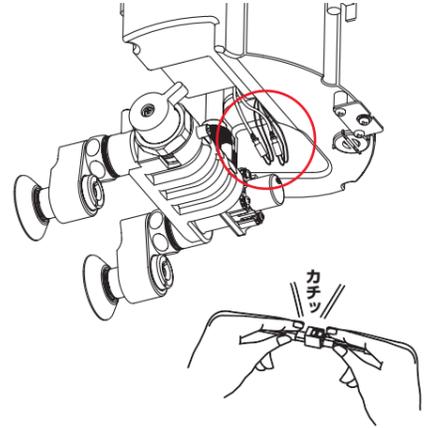
5-B-2. 給水・給湯の接続 (サーモスタット混合栓の場合)

水石けん付きの場合

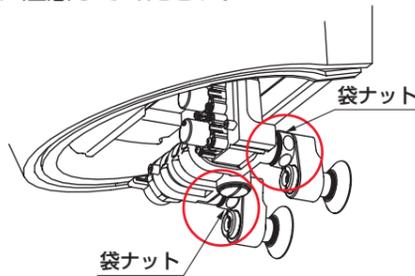
- 機能部から袋ナットを外し、スパウト連結ホースに袋ナットを通します。
- ホースを接続口に差し込み、袋ナットを手で締め付けます。
※ホースが確実に差し込まれていることを確認してください。



- 電磁弁のコネクターをコントローラーのコネクターに「カチッ」というまで差し込みます。
(サーモタイプは青色のみ。湯水切替タイプは青色と黒色)



- 給水・給湯脚の袋ナットにパッキンを取り付け、機能部をスパナなどでしっかり固定します。
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。



⚠ 注意

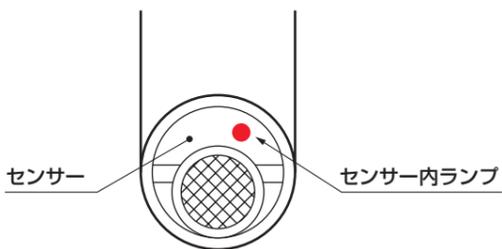


必ず実行

給水・給湯脚取り付けの際は、パッキンを必ず取り付ける水漏れして、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
給水・給湯脚は機能部の接続部が上になるように取り付ける下になるとフィルターの掃除および止水栓の調節ができません。

6. 水漏れ、動作の確認

ブレーカーをONにし通电します。水石けんが補給されていないときは、スパウトセンサー内のランプが点滅します。水石けんを補給すると消灯します。



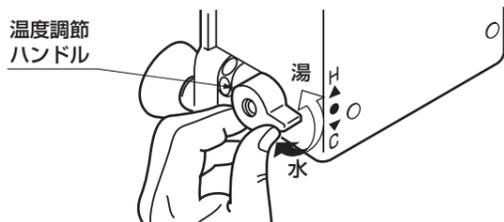
※通电されるとただちに感知距離を自動設定しますのでセンサーに手をかざしたり、ボウル内に物を置いたりしないでください。(約10秒間でこの動作は完了します)

配管の接続に間違いがないことを確認後、配管に通水し、配管と止水栓の接続、および止水栓とバルブの接続において水漏れがないことを確認します。

- スパウトの吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと水が止まることを確認してください。
- Pシール接続部から水漏れがないことを確認してください。

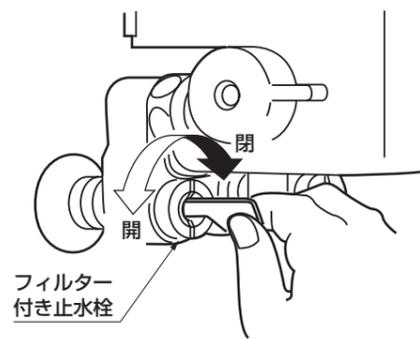
7. 温度調節 (サーモスタット混合栓のみ)

工場で適温 (約38℃) に温度調節していますが、取り付け現場の圧力状況などによって所定の吐水温度にならない場合があります。その場合、温度調節ハンドルを手で回して温度を調節してください。



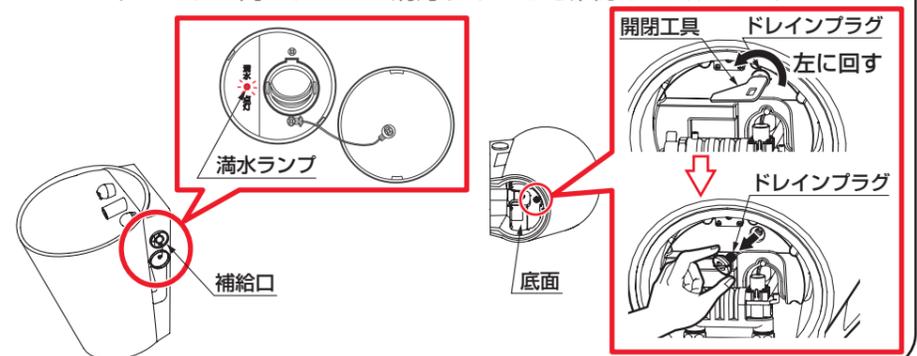
8. 吐水量の調節

駆動部内部には定流量弁を内蔵しており、基本的には調節は不要ですが、吐水の勢が強すぎて衣服の袖などをめらすおそれがある場合は、付属の開閉工具でフィルター付き止水栓を回して、吐水量を調節してください。



9. 水石けん供給装置の試運転について

- 施工後、長期間使用されない場合は、チューブ内の水石けんが乾燥し吐出不良の原因となるため、試運転は水道水で行ってください。また試運転後は、タンク内の水はためたままにして置き、使用開始時に水石けんを入れ替えてください。(タンク内の水は、底面のドレインプラグを開閉工具で外して、排水できます)
- 水石けん補給口より水石けんまたは水道水を補給し、満水ランプが点灯、スパウトセンサー内のランプが消灯することを確認してください。



※同梱の取扱説明書、水石けん入れ、六角棒レンチ、開閉工具、使用方法ラベルなどは、必ずお客様にお渡しください。